

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
https://www.keiryu-keisoku.co.jp/
購読料年間 27,500円(消費税込み)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

3506・3507
号を合併号とし、3月
9日付で発行します。

国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研) 2024年度第2回国際計量研究連絡委員会(国計連)開催

国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)は、2024年度第2回国際計量研究連絡委員会を2025年2月4日(火)国立研究開発法人産業技術総合研究所東京本部(経済産業省別館10階大会議室)にて開催した。

開催内容
日時: 2025年2月4日(火) 14:00~16:00
開催場所
東京千代田区霞が関1-3-1(地下鉄霞が関駅C2出口そば)
【対面参加】
国立研究開発法人産業技術総合研究所東京本部
【オンライン参加】
Microsoft Teamsにて実施。



2024年度第2回国際計量研究連絡委員会のもよう。



挨拶を述べる
経済産業省イノベーション・環境局計量行政室室長 仁科孝幸氏。



産総研計量標準総合センター物理計測標準研究部門電磁界標準研究グループ長森岡健浩氏



産総研計量標準総合センター総合センター長白田孝氏

TANITA
デジタルスケール
見やすいバックライト付大型表示
TL-280
¥33,000(税抜)

今週の主な記事
2024年度第2回国計連開催
計量士国家試験合格発表
計測トレーサビリティ物語③
タニタ(令和)ビジネスパーソンのランチ事情に関する調査2025(島津・高速度ビデオカメラ)
官僚制度と計量の世界(6)
社説
経済からみた日米戦争と国力差、ウクライナ戦争の終着点
①面
②面
③面
④面
⑤面
⑥面
⑦面
⑧面
⑨面
⑩面
⑪面
⑫面



産総研計量標準総合センター工学計測標準研究部門長と標準研究グループ長平井亜紀子氏



国際計量研究連絡委員会 田中充委員長



産総研計量標準普及センター国際計量室長黒川悟氏



情報通信研究機構電磁波研究所電磁波標準研究センター時空標準研究室長井戸哲也氏

国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター物理計測標準研究部門電磁界標準研究グループ長森岡健浩氏
3、「長さ諮問委員会(CCL)の活動報告」
国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター工学計測標準研究部門長と標準研究グループ長平井亜紀子氏
4、「秒の再定義に向けた動きの現状と課題」
国立研究開発法人情報通信研究機構電磁波研究所

2024年12月15日 受験者数3169名、合格者数612名、合格率19.3%。
計量士国家試験の合格者が発表された。
出願者数4523名、
合格者数612名、合格率19.3%。
計量士国家試験合格者612名
令和7年2月18日発表

電磁波標準研究センター(APLMF)関連報告、
時空標準研究室長井戸哲也氏
5、その他(アジア太平洋法定計量フォーラム
国際計量研究連絡委員会事務局

SHIMADZU
Excellence in Science

上皿天びん
UniBloc Performance Balances
UPシリーズ

クラス最速の応答性能 はかりとり作業の効率を大幅にアップ

UPシリーズ24モデル:最小読取り0.1g~0.001g

1 はかりとり作業性向上

微量計量(最小表示値の10倍相当)の表示反応時間を約1秒に短縮

2 優れた耐久性

耐久性に優れたUni Blocセンサの採用により故障によるダウンタイムを低減
耐久試験1000万回クリア(計量法試験基準の100倍)

3 作業性を高める除電器

イオナイザSTABLO-AP(オプション)で静電気による影響を排除し
信頼性の高い計量を実現

4 PLCとの動作実績

国内主要PLCメーカー製品で動作実績あり

STABLO AP



株式会社 島津製作所 分析計測事業部

UPシリーズの特徴をわかりやすく動画で解説

https://www.an.shimadzu.co.jp/products/balances/electronic-balances/up-series/

